

洗礼は罪や汚れを洗い流すものではない

- 人は神を信じたとき、
すべての罪と汚れから清められた
- これを「救われる」または「義と認められる」という
- 洗礼は、すでに救われた信者が受けるもの
- バプティゾー（動詞）
= あるものを水などの中に沈める
 - 使徒1：5（直訳）「ヨハネは水の中にバプティゾーしたが、あなたがたは聖霊の中にバプティゾーされるであろう、もう間もなく」

救われる（義と認められる）条件

- 人は、信仰を通して、神の恵みによって救われる
- 自分の行いによるのではない
- 創世記15：5～6 主のことばとアブラハムの信仰
 - さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。
 - あなたの子孫はこのようになる。
 - アブラハムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

何を信じるのか

- 主のことば→聖書による啓示
時代によって進展してきた
- よって、信仰の内容は、時代によって変わる
- 今の時代の信仰の内容は
福音の3要素（I コリ 15：3～4）
 - キリストは、私たちの罪のために死なれた（贖罪の死）
 - キリストは、墓に葬られた（仮死ではなかった・無罪）
 - キリストは、3日目によみがえられた（復活・永遠の体）

洗礼を受ける資格

- 信仰を通して、神の恵みによって救われた人
- その信仰の内容は、福音の3要素
- キリストを信頼し、これからの人生をキリストに従って歩みたいと願う人
- 洗礼→「キリストの弟子」となる（マタイ28：19）

キリストの弟子（前回のテーマ）

- 信じるとは、単なる知識ではない
- イエス・キリストを信頼すること（ロマ10：11）
- 信頼すると、その人はどうなるか
- 自分の人生をキリストにゆだねる
- キリストに従うことを喜びとして人生を歩んでいきたい

キリストの弟子が負う荷は軽い

- マタイ11：28～30
- 29「わたしは心優しく、へりくだっているから」
- 30「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽い」
- イエスの昇天の後は、さらに軽い
 - 聖霊の助け（ヨハネ14：16、16：7）
 - イエスによるとりなし（ヘブル7：24～25）

洗礼が象徴する5つのこと

1. イエスの御名によって受ける→私たちはキリストのものとなった
2. 水を用いて→キリストが私たちの罪を洗い清めてくださった
3. 水の中に沈む→キリストとともに死んで葬られた
4. 水の中から上がる→キリストがよみがえられたように、いのち（新しい性質）にあって新しい歩みをする
5. キリストにつき合わされた→必ずキリストの復活と同じになる

1ー① 私たちはキリストのもの

主・イエス・キリストの御名によって洗礼を受ける

- マタ28：19 「父、子、聖霊の御名・(単) によって」
- 使徒 2：38 「イエス・キリストの名によって」
- 2：36 「今や主ともキリストともされたこのイエス」
- 8：16 「主イエスの御名によって」

1 - ② 主・イエス・キリスト

- 「主」 : 父なる神の名ヤハウエの代替表現
- 「イエス」 : 子なる神が人となられた時の名
- 「キリスト」 : 「油注がれた者」、油は聖霊を象徴
- 三位一体の神と関連する御名
- このお名前によって洗礼を受けるのは
私たちが信じたときに、
キリストの所有となった このことを象徴するため

1 - ③ 救いは失われない

- I コリ 3 : 23
「あなたがたはキリストのものであり、
キリストは神のものです。」
- ヨハネ 10 : 29
「わたしに彼らをお与えになった父は、・・・」
「だれもわたしの父の御手から
彼らを奪い去ることはできません。」

信者は、受けた救いを自分で捨てることも不可能

2. 罪を洗い清めてくださった

- 1コリ6：11

主イエス・キリストの御名によって

私たちの神の御霊によって

あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、
義と認められたのです。

- 主イエス・キリストの御名を信じる信仰を通して
キリストが私たちの罪を洗い清めてくださった

キリスト・イエスにつくバプテスマ

- ロマ6：3
- 「キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた」
- イエスを信じたときに、信者は聖霊の中にバプティゾーされた（使徒1：5）
- 同時に聖霊が信者の中に入り、住むようになられた
- これが、キリスト・イエスにつくバプテスマ

3. キリストとともに死んで葬られた

- 聖霊の中にバプティゾーされたということは、
そのとき死んだということ
ちょうど人が水の中に浸けられ、肺の中にも
水が入ってしまえば、死ぬのと同じ
- キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた
= その死にあずかるバプテスマを受けた
- ロマ6：4a
- キリストとともに葬られた

キリストが よみがえられたように

- ロマ6：4
- 私たちはキリストとともに死んで葬られた
- キリストが 御父の栄光によって
死者の中からよみがえられたように
- 私たちも いのち（新しい性質） にあって
新しい歩みをするため
- ロマ6：5 必ずキリストの復活とも同じようになる

4. いのち（新しい性質）によって歩む

- ロマ6：4b
- 自分の力で新しい歩みをするのではない
- 父なる神がキリストをよみがえらせたように
- 信者も神によって
- **いのち（新しい性質）にあって**
- **新しい歩みをするようにされた**

5. キリストの復活と同じになる

- ロマ6：5
- キリストとつぎ合わされて
- キリストの死と同じようになっているのなら
- **必ずキリストの復活と同じになる**

- では、私たちの内に住む罪の性質はどうなるか

古い人（罪の性質）は無力化した

- ロマ 6 : 6
- 古い人（罪の性質）は、キリストとともに十字架につけられた
- 罪の性質は、なくなっていないが、滅びて（無力化して）、信者はもはや罪の奴隷ではない
- 信者には、新しい性質に従って歩むという選択が可能
- 罪の性質を小さくしよう、無くそうとする努力は✕

もし、罪の性質に従ってしまったら

- I ヨハネ 1 : 9
- 気づいたとき、すぐに
- その日を振り返って、寝る前に
- 父なる神に祈り、自分の罪を言い表しましょう
- 言い表すとは、自分の言動や思いが神のみことばに照らして罪でありました と認めること
- そうすると、気づいていない罪も含めてすべての悪からきよめられ、神との交わりが回復する

次回 6月13日は

- あらかじめ出された質問にお答えします
- 提出された証し文の内容を確認します
- 7月の洗礼式の進め方をご説明します

5月末までに証し文と質問を

- 郵送またはメールにてお送りください
- 郵送の宛先は
〒860-0085 熊本市北区高平3丁目22-13
熊本聖書フォーラム 清水誠一宛
- メールアドレスは
seiichi.shimizu777@gmail.com